

2017年8月



# 原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## 歴史的世界大会に375名が参加!

### 地域・団体参加拡大に大奮闘

七月七日に採択された「核兵器禁止条約」採択後の最初の2017年原水爆禁止世界大会が開始されました。三日から国際会議がスタートしています。今世界大会には、大阪から国際会議六名、広島大会に七十三名、長崎大会に三百二名が参加登録。各地域や団体では、「歴史的な世界大会に参加しよう」と、大奮闘の取り組みが行われました。今、世界大会成功に向けての壮行会、結団式など連日開催されています。

川原爆被害者の会の松山五郎さんの被爆証言、うたごえ、決意表明とバララエテイに富んだ楽しい結団式になりました。世界大会参加者には、各職場から千羽鶴が託され、大会参加者を励ましました。長崎大会にも三百名以上参加の大奮闘



国際会議 熱い討論がスタート  
討論での第1セッションでは、ヒバクシヤのたたかいとして、ノーモア・ヒバクシヤ近畿訴訟弁護団長の藤原精吾・弁

護士が発言。被爆者の耐えの緊急の訴えに応えての取り組みでした。締切りの七月二十日を過ぎても申し込みが相次ぎました。「核兵器禁止条約の採択に励まされた」と申し込みが相次ぎ、参加者名簿を何回も作り直し、事務局は対応に大忙しでした。各地域、団体で結団式が

今回の長崎大会参加費用は八万円以上に。平和首長会議が長崎で開催され、ホテル争奪戦の結果高額の参加費になりました。締切日の七月二十五日が過ぎても、事務局に問い合わせが殺到。「これから間に合いますか」の質問でした。歴史的な情勢を反映して、最後まで奮闘する各地域・団体の取り組みが伝わる毎日でした。

☆2017年原水爆禁止世界大会・国際会議が始まり、論議深める海外代表

広島大会参加も重点を置こうと、決定したのが七月三日。日本原水協

結団式が連日開催され、大会成功の機運が高まっています。八月三日に行われた「ヘルスコープ結団式」では百人が参加。核兵器禁止条約についての学習、寝屋



☆8月4日、ヘルスコープおおさかで開催された「広島・長崎大会結団式」



☆被爆証言をされる松山五郎さん

ヒバクシャ国際署名到達

14万5164筆

9月度6・9行動

☆9月6日(水)12時~

上本町近鉄百貨店前

# 私たちは、日本の運動を学んでいます

## 「海外代表と語ろう」



八月一日、「海外代表と語ろう!ピースインおおさか2017」が開催され、六十名が参加しました。この集会は、世界大会の成功を願い、海外代表を招き連帯する集会として、1995年から大阪原水協が開催してきた集会です。

集会では、海外代表のリス・クラークさん(IPB 国際平和ビュロー共同議長)とジョセフ・ガーンソン

さん(アメリカカフレンズ奉仕委員会)の二人が参加しました。二人が所属するIPBとアメリカカフレンズ奉仕委員会は、いずれも平和活動で「ノーベル平和賞」受賞団体です。

リス・クラークさんは、「大阪でもてなしに心より感謝いたします。IPBは1890年に設立され、三百の組織が加盟し、日本被団協も加盟団体です。核

兵器禁止条約の採択は、軍縮の新時代の扉をあけ、さらに平和を保障するすべからずのことです。核兵器を人道的イニシアチブで包囲することです。核兵器で安全保障をつくるということをご否定しています。IPBは、NATO加盟国やイタリア政府に調印し、批准させる運動を展開します」と決意を述べました。

ジョセフ・ガーンソンさんは、「大阪には十年以上通っています。日本の中でも大阪の運動は特別な大きな力を持っています。みな

## 田辺模擬爆弾追悼の集い



7月26日、「7・26田辺の模擬原爆 追悼のつどい」が開催され、近隣の小・中学校の児童会や生徒会の役員はじめ200人が参加しました。長崎型の模擬爆弾「パンプキン」が投下されたのは、午前9時26分、現在の田辺小学校の北側に投下され7人が死亡、73人が負傷しました。この時刻に合わせて、参加者全員で犠牲者に黙祷を捧げました。50発の模擬爆弾が製造され、東京、愛知、大阪など49発が投下され全国で400人が犠牲になりました。投下したのは「米509混成軍団」といわれています。

さんと喜び合いたいと思います。この禁止条約で、オーストリアのサンダール・クレメント大使は、核兵器の非人道性を訴え、賛成国をリードしました。クレメント大使は、これは日本の世界大会から学んだと言っています。ですからこのように、平和行進を歩き、ヒバクシャとともに世界大会を成功させてきたことが禁止条約を導いたのです。アメリカの青年も日本の運動を学びに日本に来ています」と、日本の原水爆禁止運動の力強さを強調しました。

## 戦争展から学びましょう

- ☆寝屋川市「戦争のない平和の世界を」8月5日(土) 寝屋川市立総合センター
- ☆藤井寺市「第7回藤井寺平和のための戦争展」8月5日(土) 藤井寺市民会館市民ギャラリー
- ☆八尾市「ピースフェスタ2017第35回やお平和のための戦争展」8月5日(土) 6日(日) 八尾市文化会館展示室
- ☆堺市「堺平和のための戦争展」8月5日(土) 6日(日) サンスクウェア堺
- ☆旭区「旭区平和のための戦争展2017」8月12日(土) 旭区民センター小ホール
- ☆住吉区「すみよし平和展2017」8月20日(日) 21日(月) 住吉区民センター